

別紙 3

融資審査の考え方

融資審査の視点	具体的な着眼点・判断基準	備考
1 これまでの経営状況はどうなっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営者の能力（技術レベル、経営マインド、生産物の単収・品質、生産コスト、資産等）はどの程度か</li> <li>○ 経営力を背景とした収支実績、財務内容、資金繰りはどうか（家族経営の場合、家計も含めて分析）</li> <li>○ 経営上の問題点は何か</li> <li>○ 経営内容が悪くなった理由は何か</li> </ul>	必要に応じ農業改良普及センター・市町等に照会
2 経営の改善を図るために、どの点をどのように改善していくのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ その点を改善すれば確実に経営改善が図られるか</li> </ul>	同上
3 経営改善計画は実行可能か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営者の能力（現在の技術レベル、経営マインド等）からみて達成できるか ※</li> <li>○ 改善計画の内容が過大投資になっていないか</li> </ul>	同上
4 計画が実行された場合に収益はどうなるか。融資返済は可能か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収益予測の算出基礎となっている単収・単価等は無理のないものか</li> <li>○ 償還見通しはあるか（家族経営の場合、家計費も含めて判断）</li> <li>○ 当該作目の需給・価格動向がある程度変動しても償還可能となるよう余裕をもったものとなっているか</li> </ul>	同上

※ 農業者の経営能力等からみて、経営改善計画の実行可能性・融資返済の可能性に疑問がある場合には、1年間、農業改良普及センター等の指導を受け、1年後に再度判断するものとする。